

宮城県

第 281 号

商工連会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
 宮城県商工振興センター内
 宮城県商工会連合会
 TEL. 022(225)8751
 FAX. 022(265)8009
 URL.http://www.miyagi-fsci.or.jp/
 発行者 天 野 忠 正
 印刷所 株式会社高橋プリント

がんばろう宮城

宮城県商工会連合会・県下33商工会



謹賀新年

綴じ込んで保管しましょう

毎年1月14日 かくだどんと祭り裸参り

小正月(1月14日)の伝統行事どんと祭。裸参りは今年で25回を数えます。どんと祭が行われる町中の六つの神社(天神社、神明社、八幡神社、金比羅神社、青麻神社、斗蔵神社)に、手に烏追い棒を持った白サラシとパッチや締め込み姿の若者たち約100名の男女が詣で、1年の家内安全、無病息災、商売繁昌を祈願し「ヤー、ホイホイホイ」の掛け声とともに町中を二時間半にわたり練り歩くものです。

- 開催日時／平成24年1月14日(土)
18:30~21:00
- 開催場所／角田市内各神社
- 問合せ先／かくだどんと祭り裸参実行委員会
(角田市商工会内)
TEL0224-62-1242

C O N T E N T S

- 年頭のご挨拶(宮城県商工会連合会長)----- (2)
(宮城県知事)----- (2)
- 復興への道標(石巻かほく、多賀城・七ヶ浜)----- (3)
- 第51回商工会全国大会----- (4)
- 2011ニッポン全国物産展----- (4)
- 地域弁護士制度キックオフセミナー----- (5)
- 災復興支援に関する講習会----- (5)
- 宮城県最低賃金改正----- (5)
- 宮城県産業復興相談センター----- (6)
- ジョブカードセンター----- (7)
- 青年部・女性部コーナー----- (8)

復興元年 総力の結集を

宮城県商工会連合会

会長 天野 忠正



年頭にあたり新年のごあいさつを申し上げます。

初めに、三月十一日に発生した「東日本大震災」により被災されました会員の皆様、そしてご家族並びに従業員の皆様に対し改めてお見舞いを申し上げます。

今回の震災では、全国の商工会会員事業所より多大なるご支援を賜りましたことに対し厚くお礼を申し上げますと

ともに、逸早い復興に向けた取り組みを加速していくことが皆様方から賜りましたご支援に報いるものと考えております。

さて、我が国経済は景気の低迷が続く中、大震災や歴史的な円高、欧州諸国の信用不安などにより先行きは極めて不透明であり、特に、地方の中小・小規模事業者を取り巻く経営環境はかつてないほど厳しいものとなっております。

更に、商工会地区においては中心市街地と周辺部の地域間格差が拡大傾向にあり、特

に震災地域においては復興計画の遅れ等による事業所の移転・廃業が相次ぎ、過疎化・高齢化と相まって地域経済は停滞しております。

こうした中、本会では今年を「復興元年」と位置づけ、被災地域の復旧・復興を最優先課題とし、組織の総力を結集し、中小・小規模事業者の支援に取り組んで参る所存でございます。

更に、商工会組織の存在意義を明確にするため、中小・小規模事業者への巡回訪問を強化し、会員支援ニーズを

的確にとらえ、きめ細かな支援を実施するとともに地域コミュニティ活動を積極的に支援し、地域経済の再生に取り組みたいと考えております。

会員の皆様には商工会事業へのなお一層のご理解とご協力をお願いいたすとともに厳しい経営環境の変化に積極的に挑戦し、この震災を乗り越えていかれることを心から念願するものであります。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

ふるさと宮城の再生に向けて

宮城県知事

村井 嘉浩



年頭のご挨拶を申し上げます。初めに、この度の大地震で被災された皆様に改めてお見舞いを申し上げます。

昨年三月十一日に東日本大震災が発生してから九カ月余りが経過しました。

この間、全国の皆さまからの多大なるご支援とご協力をいただきながら、復旧・復興に向け懸命に取り組み、着実

にその歩みを進めてまいりました。しかしながら、震災による爪痕は依然として大きく、今もなお不慣れた生活を余儀なくされている方が大勢おられます。その方々が早期に生活再建を果たすことができよう、復興に向けた取り組みを一段と加速していかなければなりません。

県では、昨年十月に、県議会の同意を得て、今後十年間の復興の道筋を示す「宮城県震災復興計画」を策定いたしました。この計画には「災害に強く安心して暮らせるまち

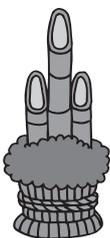
づくり」、「県民一人ひとりが復興の主体・総力を結集した復興」など五つの基本理念とともに、未曾有の大災害からの復興を成し遂げるために必要な各種の取り組みを掲げました。

今後は、この計画に基づき、復興に向けた取り組みを一層推進してまいります。真の復興を成し遂げるまでには、数多くの困難が待ち受けていることと承知しております。しかし、共に力を合わせて歩んでいけば、必ずやその困難を乗り越えていくことができるものと

確信しています。

この新たな一年を「飛躍の年」と捉え、県民の皆さまとともに、ふるさと宮城の再生とさらなる発展に向けて全身全霊を傾けながら取り組んでいく所存です。

引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。年頭に当たり皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。





市民が仮設店舗開店を祝う

石巻市雄勝町の仮設商店街「おがつ店こ屋街（たなこやがい）」が、十一月十九日旧雄勝総合支所駐車場にオープンいたしました。壊滅的な被害を受けた雄勝地区は、仮設ではありませんが八カ月ぶりに商店街が完成し、不便を強いられてきた地域住民が開店を喜んでいました。

復興への道標⑤

八か月ぶりの商店街

「おがつ店こ屋街」に歓喜の声

石巻かほく商工会

建の二棟で構成され、延べ床面積は六百二十平方メートルで、東日本大震災で被災した食料品店や海産物店、すし店、自動車整備販売会社、雄勝硯（すずり）生産販売協同組合など十一の事業所が入居しております。敷地は石巻市が提供し、石巻かほく商工会が中小企業基盤整備機構の支援を受け建設を推進して来ました。入居期間は二年間であり、石巻市から無償で店舗を借り、営

開店を記念して「おがつ復興市」も開催され、開店に先立って式典が行われ、入居店舗で組織する「おがつ店こ屋街共栄会」の澤村文雄会長が「二人でも多くの方が雄勝に帰って来られるよう、店こ屋街で頑張りたい。」と挨拶を行いました。店こ屋街は、プレハブ二階建の二棟で構成され、延べ床面積は六百二十平方メートルで、東日本大震災で被災した食料品店や海産物店、すし店、自動車整備販売会社、雄勝硯（すずり）生産販売協同組合など十一の事業所が入居しております。



市民が買い物に繰り出す

業することになっております。開店を祝うため、「おがつ復興市」が同日開催され、商店街の出店者も含めて二十店舗が石巻焼きそば、野菜などの販売を行い、地区内外から集まった人達で、久しぶりの賑わいに歓喜の声が上がりました。石巻かほく商工会では、雄勝地区には約二〇〇の会員事業所ありましたが、七、八割が被災しており、復興市には、店こ屋街の事業者や地元漁業団体等から、二十事業所が出店し、雄勝中学校一、二年生二十一名による廃タイヤで作った太鼓の演奏や、雄勝小学校五・六年生二十五名による南中ソーランの披露があり、開店に花を添えていただきました。

復興への道標⑥

住民の集いの場

「七の市商店街」オープン

多賀城・七ヶ浜商工会



人々を楽しむ交流の場

十二月十一日(日)、午前十時三十分より七ヶ浜町の仮設店舗「七の市商店街」のオープンセレモニーが七ヶ浜町生涯学習センター入り口において開催された。この仮設店舗は、中小企業基盤整備機構の支援により建設されたもので、鮮魚店、青果店、理美容店など七店舗が入居している。七ヶ浜町では、東日本大震災で壊滅的被害を受け、六百五十九棟の家屋が流失・全壊し、その大半の町民が仮設住宅で不便な生活を送っている。そこで、このような支援を活用し、「にぎわいのある、そして生きがいを感じる復興のまちづくり」を実現し、仮設住宅入居者の「働ける場」と「生きがいを持つて暮らす場」を演出するために計画され、今回のオープニングに至った。入居された事業者には、ボランティア団体の協力で、出店の準備物（机、イス、商品陳列棚等）が支援され、入居者の開店準備の負担が軽減された。入居した事業者からは、「店舗も住居も被災し、先が見えないところに仮設店舗に入居することができ、本当に助かった」との声が聞かれた。これまで自家用車等が津波で流され、買い物に不便だった方も、「七の市商店街」がオープンしたことで、買物利便性が向上し、コミュニケーションの場としても大いに期待される。

十二月十一日(日)、午前十時三十分より七ヶ浜町の仮設店舗「七の市商店街」のオープンセレモニーが七ヶ浜町生涯学習センター入り口において開催された。この仮設店舗は、中小企業基盤整備機構の支援により建設されたもので、鮮魚店、青果店、理美容店など七店舗が入居している。七ヶ浜町では、東日本大震災で壊滅的被害を受け、六百五十九棟の家屋が流失・全壊し、その大半の町民が仮設住宅で不便な生活を送っている。そこで、このような支援を活用し、「にぎわいのある、そして生きがいを感じる復興のまちづくり」を実現し、仮設住宅入居者の「働ける場」と「生きがいを持つて暮らす場」を演出するために計画され、今回のオープニングに至った。入居された事業者には、ボランティア団体の協力で、出店の準備物（机、イス、商品陳列棚等）が支援され、入居者の開店準備の負担が軽減された。入居した事業者からは、「店舗も住居も被災し、先が見えないところに仮設店舗に入居することができ、本当に助かった」との声が聞かれた。これまで自家用車等が津波で流され、買い物に不便だった方も、「七の市商店街」がオープンしたことで、買物利便性が向上し、コミュニケーションの場としても大いに期待される。

東日本大震からの

復興を期して

―第五十二回商工会全国大会―

去る十一月二十四日、東京のNHKホールを会場に、第五十一回商工会全国大会が枝野経産大臣をはじめ多数の来賓を迎え、全国各地より商工会関係者約三千名が参加し、開催された。

冒頭、参加者全員による東日本大震災の犠牲者の冥福を祈り黙祷、その後東日本大震災で甚大な被害を受けた岩



御礼と支援を訴える天野会長



盛会裏に開催された商工会全国大会

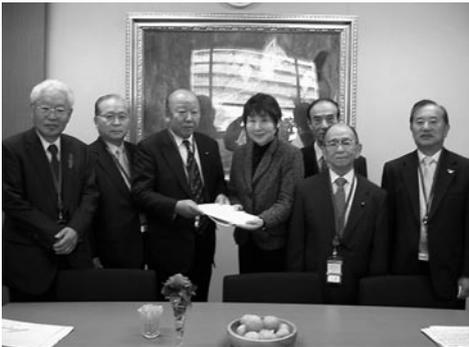
手・宮城・福島の間連会長等が全国各地からの物心両面における支援に対する御礼と今後の継続的な支援を訴えた。

野田総理大臣（代読・長浜内閣官房副長官）は「東日本大震災の復旧に全力で取り組んでいる商工会に敬意を表す」と述べるとともに、「円高、内需の縮小など厳しい現状を打破し、明るさを取り戻すためには中小企業の力が必要」と商工会の活動に期待を

示した。
大会では以下の五項目について決議がなされた。

- 一、東日本大震災被災地に対する支援
- 二、地方に活力を与える景気対策の実行
- 三、中小・小規模企業対策の拡充及び支援体制の強化
- 四、まちづくりの支援、地域コミュニティ維持活動の強化
- 五、新たな五十年に向けた商工会の組織力の強化

また大会に先立ち、天野会長をはじめとする本会三役が、衆参議員会館を訪問し、本県選出の国会議員に対して、スピード感を持って施策に取り組むよう要望を行った。



要望書を手渡す県連役員

地域の魅力を再発見！

「地域力宣言2011」ニッポン 全国物産展「Nサンシャインシティ」

十一月二十五日(金)から二十七日(日)の三日間、東京・池袋サンシャインシティにおいて「地域力宣言2011ニッポン全国物産展」が開催され、全国三百八十二の事業所が出展、期間中十三万六千人の来場者で賑わった。

本物産展は、全国の地域資源等を活用して開発された特産品を中心に、各地域の特色を生かした産品を一堂に集め、その成果普及や、各地の観光PRを行い、産業おこしによる地域経済の活性化自立化に寄与することを目的に全国商工会連合会が開催している。

本県からは、全国展開プロジェクト事業や商工会むらおこし事業等にて開発された商品を中心に十一事業所が出展、漬け物や海産物、飲料・菓子類などを宮城のブランド商品として販売し、多くの来場者から好評を得ていた。

また、むらおこし特産品コンテストにおいて、栗原南部商工会(株)ダイチの「漢方和大煮」が審査委員特別賞を受賞するとともに、今回で二回目となった「全国ご当地おやつランキング」では、河南桃生商工会(有)風月堂の「ずんだ餅」が第五位に入賞した。

さらに、バイヤーの方々も多数来場いただき、各所で名刺交換や商品説明が行われ、今後の販路拡大に繋がる出会いの場となった。



多くの来場者で賑わう会場風景

中小・小規模事業者への支援に向けて 地域弁護士制度 キックオフセミナー



被災状況を報告する青山主幹

十一月二十二日(火)、アークホテル仙台において「震災復興支援セミナー」を開催した。本セミナーは二部構成で、第一部では、宮城県経営支援課八楯政信主幹より「宮城県産業復興相談センター及び宮城県産業復興機構について」をテーマに、十一月十六日より開設された当相談業務に伴うシステムの流れや利用手順等、買取機構の仕組み等について説明がなされた。

また、仙台北税務署の林広光指導官より「震災特別法の概要」をテーマに、震災により被災した資産損失額の控除方法について、被災者の震災度合いに合わせた合理的な計算方

法等について説明がなされた。第二部では、女川町商工会 青山貴博主幹より「被災事業者の現状と商工会の取り組み」をテーマに、女川町の現状や当商工会のこれまでの取り組み、被災事業者が抱える問題・課題に対する支援策等について発表をいただいた。



弁護士との連携を説明する曾我弁護士

続いて、曾我法律事務所曾我陽一弁護士から「弁護士業務と相談依頼の留意点」をテーマに、各種法律相談や本会が実施している地域弁護士制度の概要、弁護士と商工会が連携して行う会員事業者への積極的な支援方法等について

て発表をいただいた。その後、貝山事務局長が座長となり、地域弁護士制度について意見交換を行い、弁護士が仙台市に集中していることや、それ以外の市町村部における中小・小規模事業者が事業承継や債権回収等の経営

「真の経営者となるために 生き抜く力を学ぶ！」 震災復興支援に関する講習会を開催



体験談を熱弁する立石氏

東日本震災により直接的又は間接的な被害を受けた中小・小規模企業者を対象に、ホテルサンシャイン佐沼(十一月十五日(火)開催)及び仙台ガーデンパレス(十六日(水)開催)において「震災復興支援に関する講習会」を開催した。当日は、(株)アテナソリュション代表取締役の立石裕明氏より「真の経営者となるために、生き抜く力を学ぶ！」と題して講演をいただいた。

講師の立石氏は、自らの事業も阪神淡路大震災で被災した経験を踏まえ、仮設住宅に住む被災者への御用聞き活動の重要性や、経営者として生

課題について、専門家による法的助言を得ることが難しい状況にあることから、迅速かつ適切な法的サービスの受けられる地域弁護士制度の効果的かつ円滑な導入について弁護士と連携して支援することを確認した。

宮城県(産業別)最低賃金が改正されました

地域別最低賃金	時間額	効力発生日
宮城県最低賃金	675円	平成23年10月29日
宮城県産業別最低賃金	時間額	効力発生日
鉄鋼業	781円	平成23年12月16日
電子部品・デバイス・電子回路・電気機械器具、情報通信器具製造業	744円	
自動車小売業	747円	

平成23年度の宮城県最低賃金は、それぞれ上記の金額に引上げとなりました。詳しいことは宮城県労働局労働基準部賃金室(電話022-299-8841)または、最寄りの労働基準監督署にお問合わせ下さい。

宮城県産業復興相談センターが開設 ～二重債務問題への対応強化等～

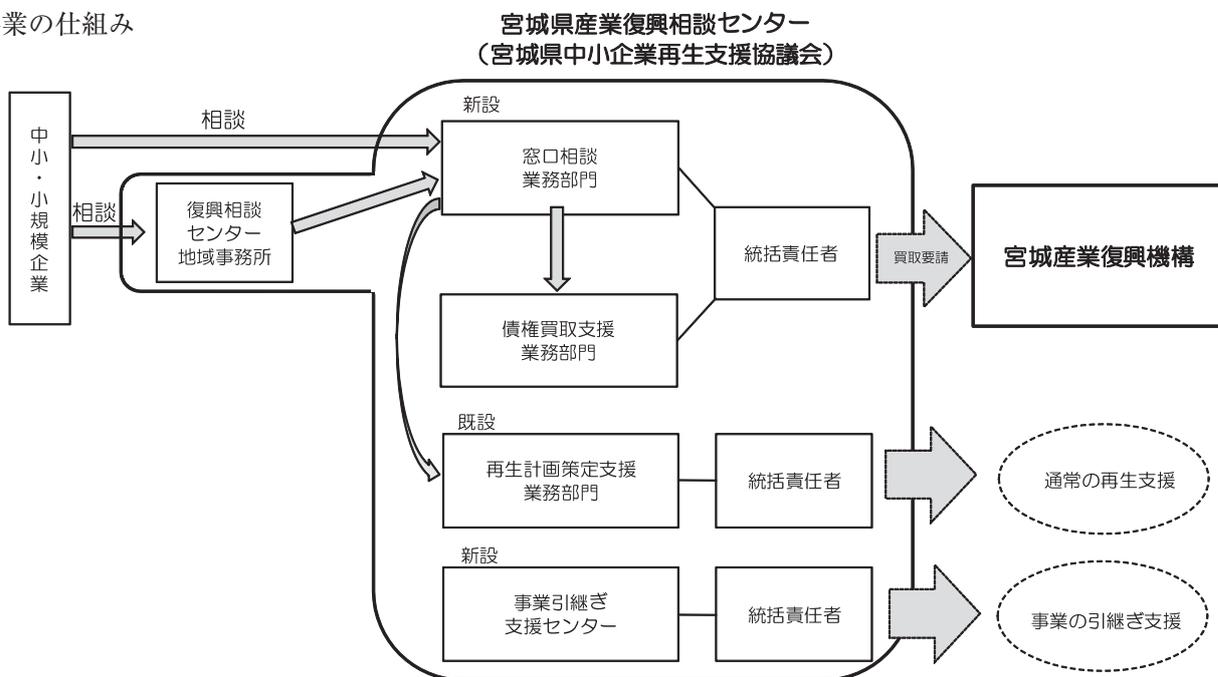
この度、公益財団法人みやぎ産業復興機構を設置主体とした「宮城県産業復興相談センター」が開設され、東日本大震災により甚大な被害を受けた県内中小企業者等の二重債務問題への対応や事業再生に向けた支援体制の構築が進められることとなりました。

本事業は、個人事業者や小規模事業者等を含め、東日本大震災により被害を受けた幅広い事業者に対応し、ヒアリングした実情に応じ以下のようなきめ細かなサポートを実施します。

また、県内には一次的な相談窓口として商工会及び商工会議所に「復興相談センター地域事務所」を設置し、震災アドバイザーを配置するなどして相談に応じております。

- (1) 関係支援機関・支援施策の紹介等
- (2) 事業計画・再生計画の策定支援
- (3) 宮城産業復興機構による債権買取の支援

本事業の仕組み



◆相談窓口

宮城県産業復興相談センター

〒980-0802

宮城県仙台市青葉区二日町12-30

電話022-722-3858 FAX022-227-0187

または、県内の商工会及び商工会議所

今年も手書きですか？
インターネットでできる
中小企業会計システム

商工会が
お勧めする

ネットde記帳

自主記帳

すぐに使えます！

インターネット環境及びパソコンがあればお申し込み後すぐにご利用いただけます。インストールや導入設定は不要です。

初めてでも安心！

伝票処理や操作方法等、システム・会計全般に関することを、商工会がしっかり手厚くサポートします。セキュリティーも万全です。

日々の入力で税務書類まで作成！

日々の会計処理等を行うだけで、通常帳票に加え、青色申告決算書、も出力できます。

詳しくは最寄りの商工会までお問い合わせください。

ジョブ・カードを採用ツールとして活用しませんか!

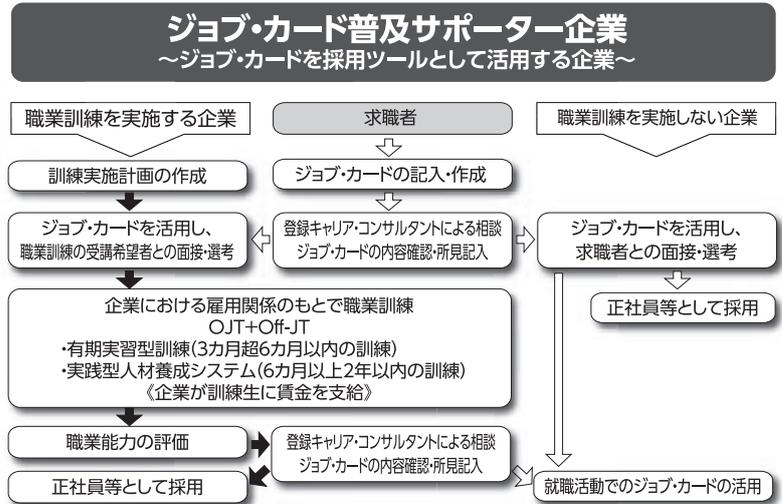
■ジョブ・カード

求職者の職業能力を証明する4種類のシートです。履歴書などにはない求職者に関する詳細な情報が記載されているので、短時間の採用面接では分からない求職者の職業能力やレベルなどを客観的に評価できます。

■ジョブ・カード制度

ジョブ・カードを活用した職業訓練を通じ、有能な人材を育成・確保したい企業と正社員経験の少ない求職者などのマッチングを促進する国の制度です。職業訓練を実施する企業では、訓練生の適性や能力などを判断したうえ、正社員として継続雇用できます。また、一定の要件を満たす場合には、国からの助成金や奨励金を受けられます。

職業訓練の実施で
ミスマッチを軽減できます



ジョブ・カード普及サポーター企業を募集!
「ジョブ・カード」をより多くの企業に知っていただき採用面接に取り入れませんか。

宮城県地域ジョブ・カードセンター
〒980-8414 仙台市青葉区本町2-16-12 仙台商工会議所内
TEL:022-212-4777 FAX:022-211-0720 [ジョブ・カード制度](#) [検索](#)

大切な、商工会会員の皆さま、だからこそ加入できる特別な制度です!

全国商工会会員福祉共済

ライフスタイルと必要補償額に応じて、加入プランをご検討いただけます!



※「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます
*1.継続加入は満85歳まで *2.継続加入は満80歳まで

充実安心!「けが」「病気」「がん」の補償

「けが」の補償 「病気」の補償 「がん」重点補償

とりあえず「けが」の補償だけで!

「けが」の補償 「病気」の補償 「がん」重点補償

心配な「けが」「がん」の補償をメイン!

「けが」の補償 「病気」の補償 「がん」重点補償

新設の「がん」重点補償が気に入ったので!

「けが」の補償 「病気」の補償 「がん」重点補償

「病気」の補償とセット加入で手厚い補償を!

「けが」の補償 「病気」の補償 「がん」重点補償

- 「けが」の補償には傷害プラン2,000円コース・3,000円コース・4,000円コース 傷害ライトプラン・シニア傷害プランがあります。
- 「病気」の補償には医療特約・シニア医療特約があります。
- 「がん」重点補償には「がん」重点補償プラン・シニア「がん」重点補償プランがあります。

このようなお支払いをしました。

- 雨の道路で自動車を運転中に、スリップして道路脇の電柱に激突して死亡しました。
死亡(交通事故)で**10,000,000円**(傷害プラン2,000円コース)のお支払いをしました。
- 作業中に旋盤に右手を巻き込まれて、親指を切断しました。
後遺障害10級(不慮の事故)、手術(切断四肢再接合術)、入院37日、通院14日で
合計**606,000円**(傷害ライトプラン)のお支払いをしました。

お申込・お問い合わせ・資料請求はお近くの商工会へ



青年部
コーナー

佐々木智徳君(加美)最優秀賞受賞
— 商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会 —

第十八回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会が十一月十五日、山形県山形市「山形国際ホテル」を会場に、東北北海道の各地から青年部員三百三十名の参加の下盛大に開催された。



最優秀賞に輝く佐々木智徳君

本研修会は、商工会青年部員を対象に、部員相互の交流を通し、人的ネットワークづくりと部員の資質向上を図る

事を目的に開催されており、今回で一八回目を迎える。初めに主張発表大会が行われ、各道・県商

場権を手にした。次いで、タレントのゆうたろう氏を講師に迎え「地方の改革は若者の元氣から」と題し講演が行われた。

講師から震災からの復興等、地域の発展には青年部員のような若い力が欠かせない、熱い気持ちを持ってこれからも邁進してもらいたいと熱く話された。

その後、交流会が開催され、終始和やかな雰囲気の中で情報交換の輪が広がり本研修会は盛会裏に終了した。



女性部
コーナー

女性の感性を生かした復興事業

— ブロック別震災復興支援事業 —

東日本大震災からの復興に向けて、宮城県内各地の女性部がブロック毎に震災復興事業を行った。

三陸ブロックでは、「四十回飯野川歩行者天国まつり」において被災地域の特産品等の販売や無料試食会を行った。

栗原・登米ブロックでは、「登米市観光物産大博覧会2011」の中で義援金募集

の為にチャリティーバザーなどを実施、更に栗原エリアでは栗原市の「産業まつり」に

仙南ブロックでは「くまがらばらう」宮城・食材王国みやぎ地産地消市場」において、被害を受けた仙南地域の特産品等の販売支援を行った。

大崎ブロックでは「あ・ら・伊達な道の駅広場」加美町

秋まつり」「美里町産業復興祭」「鹿島台互市」の四会場において募金活動と特産品及び物産品の販売を行うと

ともに、避難住民に対して四地区の食材を活用した無料のチャリティー鍋を提供した。

ホットする支援に感謝を

三重県小俣町商工会女性部より石巻かほく商工会女性部へひまわりのプランター百個が、更に秋田県北秋田市商工



笑顔で迎える三陸ブロック女性部の皆さん

宮城県火災共済グループ

— \$ 安い掛金で大きな安心 \$ —

平成23年10月1日より「新総合火災共済」を販売開始いたしました。

先ずはお見積を!!

民間の損害保険会社の地震保険を取扱っております
あるいは直接 宮城県火災共済協同組合 宮城県中小企業共済協同組合
TEL 022(263)1265 FAX022(267)2878

火災共済



自動車共済



その他 各種共済

お問い合わせ・お申込みは お近くの商工会へ